
3 室蘭市工業の将来像と基本方向

3.2 工業振興の基本方向

3.2.1 特性・課題・視点をふまえて

- 基幹企業を含め室蘭市工業の活動は従前に比べて多様化し、企業城下町から変化しようとしている。この動きをより顕著にするためには、先行する企業群の成長を軸にして新たな工業集積を図ることと、それを促すための地域が一体となった取り組みが必要である。
- その大きな目標が「企業家精神あふれる工業集積都市むろらんを目指して」である。この姿を具現化するためには、これまで述べてきた室蘭市工業の特性、資源、課題、視点をふまえた工業振興の基本方向として、地域の共通認識を持つ必要がある。
- 本ビジョンにおいては、新たな市場開拓、基幹企業との関わり、技術集積の活用などといったテーマの中で、期待される企業活動とともに地域産業としてのあり方から、以下の5点を室蘭市工業の振興に向けた基本方向とした。

新分野・新産業創出への継続的挑戦

特殊鋼基地としての協働と相乗的発展の推進

専門家集団と産業ネットワークの形成

マーケットへの接近と新規開拓への積極的挑戦

柔軟で有効な産業支援体制の確立

3.2.2 基本方向

(1) 新分野・新産業創出への継続的挑戦

- 室蘭市工業が柱となる新分野・新産業を形成するためには、現在行われている活動をさらに広げて、粘り強く継続していくことが必要である。
- そのためにも、既存の企業においては企画・開発力の強化を図るとともに、商社機能、研究開発機能など外部の資源を積極的に活用していくことが必要である。
- また、規模を問わず多様な起業化行動を促すことに加えて、これまで行ってきた企業誘致についてもさらに充実していく必要がある。
- 地域社会がこうした創造的な活動を生む舞台になるためには、新分野への挑戦が普遍的な企業意識であることが基本的な条件となる。こうした風土を次代に向けて形

成していくための一つの手法として、特定テーマを取り上げ地域として戦略的に展開していくことが考えられる。

- 市場分野として考えると、現在の活動状況からみて環境・エネルギー関連分野が先導する一つの方向として想定できる。
- 前章でも述べたとおり、室蘭市内には環境関連分野に興味を持つ企業が多く、実際に、中小企業から基幹企業まで規模を問わず、装置開発、技術開発、共同研究などが行われており、地域として気運が高まっているものといえる。
- 当面は、こうした動きを生かしてさらに活発化させるという観点から、先導的な分野として重点的に支援していくことが必要である。

図表3.2-1 室蘭市において展開が期待される新分野

資料名	市場分野	当面先導が期待される分野
「新規産業創出環境整備プログラム」より 1 (新規成長15分野、国)	<ul style="list-style-type: none"> ●環境関連(28%) ●新製造技術関連(20%) ●医療・福祉関連(16%) 	環境関連・エネルギー関連 新製造技術関連・製造システム技術
「北海道新規成長分野産業振興ビジョン」より (北海道)	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅・都市インフラ関連 ●環境・リサイクル関連 ●情報・通信関連 ●産業支援関連 ●健康・福祉関連 ●文化・レジャー関連 	
「道央圏新産業創造拠点形成調査」より 2 (北海道通商産業局)	<ul style="list-style-type: none"> ●環境関連装置製造産業 ●製造システム技術提供産業 ●マルチメディア関連産業 	
「室蘭市総合計画」 「室蘭市新エネルギービジョン」より (室蘭市)	<ul style="list-style-type: none"> ●農水産業や食品加工業関連 ●新エネルギー機器 ●新エネルギー・環境関連産業等 ●情報・住宅・福祉関連産業等 	

注： 1については、室蘭市アンケート調査の結果をもとに、関心を持っている分野の上位3つを図示、カッコ内の数値は回答率を示す
2については、室蘭市の企業集積が位置付けられたものを図示

- ただし、医療・福祉関連、海洋関連、食産業にかかるテクノロジーなど、今後の企業ニーズは多岐にわたる可能性があるため、一つの分野に固執せず、多面的に取り組んでいくことを念頭に置く必要がある。
- また、市場分野とは違う観点から、情報通信技術をものづくりに駆使する工業、メンテナンス・エンジニアリングサービスを事業戦略とする工業など、融合型産業と

でもいべき業態として差別化を図り成長を促すことも方向としてある。

- こうした方向性を念頭に置きながらも一極に方向付けることは避け、今後活発になるであろう企業の新たな分野開拓の動きに併せて柔軟に対応していく必要がある。どのような分野であっても成長する要素は含まれており、それを見出すか否かが企業の成長を決定付けるものといえる。

(2) 特殊鋼基地としての協働と相乗的発展の推進

- 特殊鋼基地としての協働とは、基幹企業及び関連企業の地域への貢献をさらに促すことと、中小企業が基幹企業との関わりの中でこれまでの活動スタンスから脱皮を図ることである。
- 室蘭市工業の振興を考える上で基幹企業群に期待される役割は大きい。安定的な生産活動を維持することに加えて、地域への技術発信、企業資源の地域への開放、創造的な中小企業の育成などである。
- とりわけ基幹企業の技術的資源、関連企業群が有する専門技術は、室蘭市工業の優位性・差別化を拡大する要素であり、個々の中小企業はもとより地域として広く活用していくことが必要である。
- 中小企業においては、基幹企業群との関係を向上させることが重要であり、旧来の下請型から提案型へと転換する必要がある。生産現場のニーズは普遍的に存在するものであり、とりわけ効率化への対応は大きな課題となっている。こうした面から積極的に提案していくような活動が求められる。
- こうした活動を促し、基幹企業群と中小企業との関わりの中で双方の発展を図っていくことが必要である。

(3) 専門家集団と産業ネットワークの形成

- 室蘭市工業が有する生産技術を最大限生かすため、企業個々が得意とする技術の高度化を図り、自身の取引を広域化することに加えて、市工業全体として総合力が発揮できるような体制づくりが必要である。
- 発生した業務に対して個々の企業では対応できない部分があった場合、他の企業の技術・設備等を活用するなど、発展的分業とでもいべき多種多様な需要に対応できる企業間関係の構築が期待される。こうした構造は、個々の企業においては効率のかつ戦略的な運営を、地域においては多様な産業展開を可能とする。
- こうした活動が拡大し室蘭市工業の新たな特徴となるためには、専門化された中小企業の集積が量的に大きいだけでなく多様であることが条件となる。

- そのため、起業化の促進や企業誘致の推進を図りながらも、既存中小企業の保有技術について専門性・優位性の確保を促し、高次の共同開発、共同受注などを可能とするネットワークを形成することが必要である。

(4) マーケットへの接近と新規開拓への積極的挑戦

- 企画・営業力の強化は、室蘭市工業、とりわけ中小企業においては強く求められる点である。地域の風土として積極的に域外市場にアンテナをはる、新規に開拓するといった意識は少なかったといえる。
- しかし、今後はこうした面での意識・行動の変革が必然的に強いられ、内外のあらゆる産業ニーズ、社会ニーズを貪欲に捉えながら事業展開を図っていくことが求められる。アンテナの広さと豊かな着想が経営力を形成していくといっても過言ではない。
- このことは、主力事業の拡大のみならず、新分野開拓においても重要であり、開発成果の事業化・展開拡大や、ユーザー情報をフィードバックさせた開発活動などを可能とする。また、域内で発生しながらも域外に流出している業務についても、競争意識を持って切磋琢磨しながら拡大する必要がある。
- そのため、これまで行われてきた域外への情報発信を拡充させるとともに、商社機能の活用、中小企業の意識への刺激・啓発などにより、積極的な市場開拓への取り組みを促す必要がある。

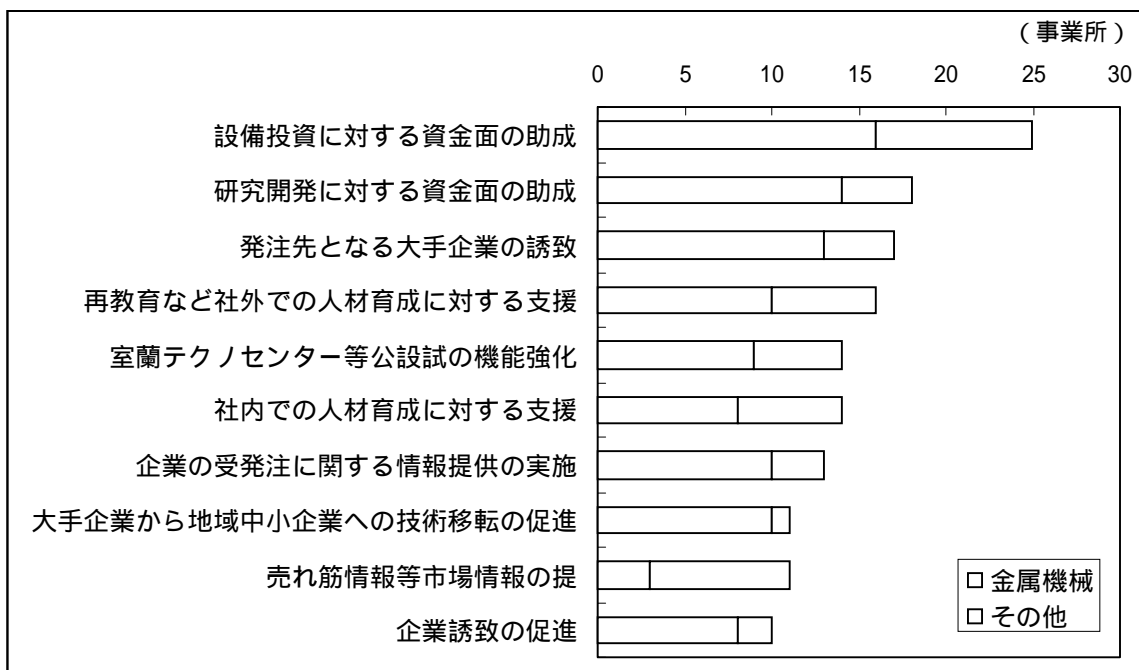
(5) 柔軟で有効な産業支援体制の確立

- 以上のような方向を目指して取り組んでいくためには、企業個々の意識・行動が主体になるとはいえ、地域としていかに効果的にそれをバックアップできるかということが重要である。
- これまで室蘭市内では、市や室蘭テクノセンター、商工会議所など関係機関が一体となって支援機能を果たしてきた。これらの体制・機能強化は継続的に必要であり、とりわけ中心的役割を担う室蘭テクノセンターにはコーディネート機能として役割がさらに高まる。
- 当然のことながら地域の産業支援体制としては、産学官連携や広域的な連携の強化が求められ、その有機的なつながりを以って、これまで以上に柔軟な取り組みを可能とする体制を確立することが重要である。
- また、前記の基本方向全てに関連して起業化を促進することが重要であることから、地域の新たな機能として、内外の資源を活用したインキュベータ機能の創出を図っ

ていく必要がある。

- アンケート調査では、支援策について資金面でのニーズが高い結果となった。こうしたニーズに市単独で対応していくには限界がある。行政的には国や北海道、関連団体の支援を、また、地域内の金融機関の協力を得ながら対応していくことが必要である。さらに、わが国では新たな金融機能として個人投資、ベンチャー基金などの直接金融の必要性が高まっていることから、こうした点も念頭に置いて多様な投資の誘導を図っていく必要がある。

図表3.2-2 市内企業が重要と考える支援策



注：上位10項目を図示

資料：室蘭市アンケート調査（平成10年10月）

室蘭市工業の将来像と基本方向

